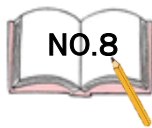


コミュニティ・スクールだより



釧路市立鳥取小学校コミュニティ・スクール協議会

文責：鳥取小学校地域コーディネーター 大越 祥子

H 30. 6. 11

コミュニティ・スクール協議会、3年目の活動がスタートしました

5月31日、協議会が発足して3年目の活動となる、今年度1回目のコミュニティ・スクール協議会を開催しました。

今年度は委員の改選期にあたる事から、新たな委員を迎え、会長、副会長の選出を行ったあと、今回のテーマとなる、「平成30年度学校経営方針の説明」を本川校長先生からしていただき、委員の承認を確認しました。

さらに、委員から学校への質問や意見交換など、活発な話し合いが行われました。

平成30年度 鳥取小学校コミュニティ・スクール協議会 委員紹介

委員長 山口 隆（教員OB）

副委員長 小川 兼義（鳥取第三町内会 会長）

委員 伊藤 晃一（鳥取中学校 校長）	柿沼 俊介（昭和児童センター館長）
塚部 一人（鳥小PTA会長）	大越 拓也（鳥小PTA副会長）
林 真理奈（鳥小PTA副会長）	岩田 淳一（鳥小おやじ会 会長）
辻野剛始郎（株式会社ベナレス）	星 義信（鳥取栄朋町内会総務部長）
阿部 裕一（鳥取第2町内会副会長）	佐藤 光男（昭和中央町内会 会長）
千葉 賢市（昭和自治会 会長）	木下 正明（鳥取神社宮司）
本川 敬一（鳥取小学校 校長）	



本年度の教育活動の重点方針

本年度は、教育課程に基づき、組織的かつ計画的に学校の教育活動の質の向上を図っていく「カリキュラム・マネジメント」の実施に取り組み、評価・改善を図る一連の検証改善サイクル（PDCAサイクル）を確立していく事を重点とする。

カリキュラム・マネジメント3つの柱

- | | |
|-----------------------------|----------------|
| ① 何を理解しているか、何ができるか | 「知識・技能の習得」 |
| ② 理解していること・できることをどう使うか | 「思考力・判断力・表現力」 |
| ③ どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか | 「学びに向かう力、人間性等」 |

チーム鳥取

教職員が[1枚岩]となって協働、保護者・地域も入り大きなチームへ

学校の教育目標達成と活性化を目指す為、教職員1人1人が役割と責任を自覚し、共通理解を図り、互いの考え方を尊重し、「一枚岩」となって協働する事が求められています。また、その為には、保護者や地域の方の協力が必要です。

全員で**チーム鳥取**という大きな1枚岩となり、子ども達を支えていく事で、組織力、学校力、地域力を高めていきたいと思ひます。



鳥取小学校の特色

本校ではさまざまなボランティアや地域活動が行われています。

コミュニティ・スクール
指定校で
であること



地域コーディネーターが
配置されていること



図書ボランティアの活動
(読み聞かせ・本の貸出など)



傘ボランティアの活動
(しゃんしゃん傘の修理など)



見守り隊の活動
(児童登下校見守りなど)



おやじ会の活動
(学校キャンプの運営など)

グループホームとの交流

クレインスの見守り活動

鳥取神社祭御神輿参加

など、たくさんの方が学校
や児童と関わっています

～子ども達が地域を実感できるコミスクを目指して～

昨年まではコミュニティ・スクール校として、学校・家庭・地域が連携できるような取り組みを目指してきましたが、今年度はもう1歩踏み込み、今までの活動の見直しや、さらなる発展を目指します。

子どもたちに関わる大人が全員で一丸となって子ども達を支え、子ども達が地域を実感できるような鳥取小学校らしい取り組みを行っていきたく思います。

次回の開催は7月26日の予定です。

